

「比例は共産党」の流れを広げに広げ 近畿 4 議席への躍進を 志位委員長が訴え



京都演説会

1650カ所、

4600人が視聴。

3人入党

党京都府委員会と同後援会は28日、オンライン演説会を開き、緊急事態宣言の下、82%の支部が取り組み、1650カ所、4600人が視聴。当日3人が入党し、日刊紙5人、日曜版30人、京都民報4人の読者が増えました。

志位和夫委員長が演説。市民連合・山口二郎法政大教授のメッセージ、中間地方選候補の紹介、近畿比例候補と小選挙区4候補の紹介動画、たけやま彩子比例候補と思春期アドバイザーのあかたちかこさんとの対談、こくた恵二党国対委員長（近畿比例・1区重複）の決意表明と盛りだくさん。

●「何より命」をぶれずに貫く党

「コロナ感染拡大は菅政権による人災であり、責任をとらせなければならない」と指摘した志位さんは、日本共産党について『「なにより、いのち」を『ぶれずに、つらぬく』党。その根本には、党をつくって99年、反戦平和をぶれずに貫いてきた歴史がある」と力説。「『比例は共産党』の流れを広げに広げ、近畿ブロックで2議席から4議席への躍進を勝ち取らせて下さい」と訴えました。

●総選挙 4つの大争点

菅政権を倒してどういふ日本をつくるのか—志位氏は次の4点を訴えました。

①弱肉強食、自己責任押し付けの新自由主義は終わりにし、国民の命と暮らしを何よりも大切にする政治にきりかえる。

②地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる。

③「ジェンダー平等の日本」をつくる。

④憲法9条を生かした平和外交を行う。

志位氏は最後に野党共闘の成功で政権交代実現、比例躍進と京都1区でのこくた氏の勝利を訴えました。

●感想から

「演説会を聞くのは初めてでした。日本共産党がどんな社会をめざしているのかがわかって、共感することも多く、応援したくなりました」（民青同盟員）、「短い時間で、比例と小選挙区の両方の要素があり、大変よかった。山口さんの話も大変感動した。志位委員長の話は総選挙本番にふさわしくコンパクトで説得力があった。希望を感じたという人が多いと思う」

小村候補迎え「比例デー」

大阪堺 つどいで2人が入党

堺から「比例は共産党」の大波を起こそうと、週末、党勢拡大と一体に対話・支持拡大に奮闘しました。地区委員会は同時に府委員会のアピール「比例が主戦場」を議論し、「比例で突き抜ける選挙」「候補者は日本共産党」と大きく打って出ようと提起しています。

28日午後、16区は、こむら潤比例候補を迎えて「比例デー」に取り組みました。つどいには45人が参加し、2人が入党しました。一人は支部のセンターの隣に住む人で1年前から日曜版を購読、熱心に読んでくれたことも分かりました。

つどいの後はJR堺市駅前で宣伝。こむらさんは子育てやジェンダー平等について話しました。比例7万5000票をとって、こむらさんを国会に送りたいという思いになった比例デーでした。（地区ニュースより）

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 44(2021.8.30)